

# 平成25年度 福岡市食育推進事業一覧

資料2
平成26年度食育推進会議 H27.2.4

## 1 家庭・地域における食育の推進

### ■子ども期(乳幼児期)対象事業

	事業名	実施時期	実績 (人数・件数等)	内容	担当局・課 (関係課)
1	地域と連携した食育推進	随時	477回 19,405人	<公民館> 乳幼児ふれあい学級, 家庭教育学級, 子どもの健全育成関連事業等において, 食育をテーマとした学習や料理実習を実施。	市民局公民館調整課
2	マタニティスクール	通年	62回 640人	母子の健全な発育を図るため, 妊婦等を対象に, 妊娠中及び産後の食生活について講話を実施。	各区健康課
3	離乳食教室	通年	93回 2,986人	乳児のよい食習慣の確立と保護者の育児支援のために, 離乳食のすすめ方について試食や講話を実施。	
4	離乳食指導	通年	228回 14,432人	各区で実施される4か月児健診時に, 離乳食の目的や基本的な注意事項について講話を実施。	
5	「早寝早起き朝ごはん」事業	通年	20回 822人 (大人353人, 子ども469人) ボランティアスタッフ113人	保育園(所), 幼稚園, 東区食生活改善推進員協議会, 福岡女子大学の食育ボランティアサークル等と連携し, 子どもの朝食摂取率の向上をめざして調理実習, 試食, 講話等を実施。	
6	食育相談会	通年	12回 88人	城南区子どもプラザにおいて, 利用者に対して管理栄養士による個別育相談を実施。	城南区健康課
7	食育エブロンシアター	通年	24回 1,117人	3歳児健診時の待ち時間を利用して, 食育エブロンシアターを実施。	
8	元気でいただきます食育講習会	7月~1月	4回 69人	未就学児・児童の保護者及び児童を対象に, 料理実習を伴う食育講習会を実施。	
9	乳幼児保護者対象出前講座	通年	10回 536人 (親259人, 子277人)	乳幼児からの食育により, 地域住民の生涯にわたる健康的な生活を支援するため, “早寝早起き朝ごはん”を基本とした規則正しい生活リズムの確立と成長に応じた食事のすすめ方や必要な栄養バランス等の習得を目的として, 乳幼児期の保護者を対象に出前講座の実施。	西区健康課 (西区地域保健福祉課)
10	子育てサロン・サークル等での母子教育	随時	—	子育てサロン, サークル, 公民館乳幼児学級等で乳幼児の食習慣等について健康教育を実施。	各区地域保健福祉課
11	母子巡回健康相談	随時	—	健康相談に参加した乳幼児の親に対して, 乳児の離乳食や幼児のおやつ, 食習慣についての健康教育を実施。	
12	子どもの生活リズム向上のための普及啓発事業	10月~11月	58回 2,230人	子どもの健やかな発育発達を促すために欠かせない「早寝・早起き・朝ごはん・しっかり外で遊ぶ」の基本的な生活習慣の大切さを普及啓発するため, リーフレット作成や朝ごはん・外遊び教室等を平成18年度より実施。平成24年度からは10~11月を「南区子ども月間」とし, 子育て支援課の虐待防止と連携して街頭キャンペーン等普及啓発を推進。	南区地域保健福祉課

### ■子ども期(学童期)対象事業

	事業名	実施時期	実績 (人数・件数等)	内容	担当局・課 (関係課)
1	親と子の料理教室	通年	7回 258人 (親114人, 子144人)	福岡市食生活改善推進員協議会に委託して, 各区において親子を対象にした料理教室を開催。	各区健康課
2	博多区食育推進事業(おやつ教室等)	10月5日	40人	「博多区健康フェスティバル」において, スナックスクールを実施。	博多区健康課
3	子ども料理教室	7月・8月	3回 56人	子どもの心と体の健康づくりをねらいとして, 小学生及びその保護者を対象に, 健全な食生活を営むために必要な食に関する理解や判断力を身につけ, 適切な食品選択や食事準備のために必要な知識・技術を得るために, 材料の選び方, 調理, 正しい食習慣の形成等の食生活共同体験教室を実施。	西区健康課
		7月	1回 40人		西区地域保健福祉課
4	保護者向け料理教室	2月	2回 33人	仕事を持つ子育て中の保護者を対象に, 家族の心と身体の健康づくりをねらいとして, 健全な食生活を営むために必要な食に関する知識と技術を習得する共同料理教室を実施。	西区健康課

○番号は新規事業

# 平成25年度 福岡市食育推進事業一覧

## 1 家庭・地域における食育の推進

### ■若者期対象事業

	事業名	実施時期	実績 (人数・件数等)	内容	担当局・課 (関係課)
1	若い世代を対象とした料理講習会	通年	7回 142人	大学生や20～30歳代の働く世代を対象に料理講習会を開催。プロの料理人を講師に招いたり、料理と食事のマナー等も取り入れて実施。	保健福祉局健康増進課
②	野菜を使った朝食商品の開発	通年	—	朝食喫食率が低い20歳代をターゲットに、セブンイレブンジャパン、市内の大学等へ通う学生とともに、「野菜を使った朝食向け商品（とうふハンバーグマフィン）」を開発し、福岡市内のセブン・イレブン約240店舗にて、期間限定で販売した。	
3	学生料理教室	12月	1回 23人	大学生、専門学校生等を対象に生活習慣病予防と食事の関係の講話と調理実習を実施。	中央区健康課
④	純真短期大学における食育啓発	6月14日	10人	九州農政局福岡地域センター主催の移動消費者の部屋（純真短期大学学生食堂）において栄養相談を実施。	南区健康課
5	食育講演会	7月24日	108人	少年院の生徒に対して食育の講演会を実施。	
⑥	純真学園学園祭における食育啓発	10月26日	10人	学園祭における子宮頸がん検診の会場で、食育コーナーを設定しパネル・リーフレット・レシピ集などの掲示・配布を実施。	早良区健康課
7	食育講演会	10月3日	81人	演題：「食べるってなあに？～憧れのサザエさん一家～」 講師：料理研究家 山際 千津枝 氏	
8	わかもの料理教室	12月～3月	3回 103人	16歳から25歳くらいの年齢で単身（1人暮らし）者、または家庭で料理を作る機会の少ない学生や若年就労者を対象に、生活習慣病の予防を目的とした食に関する知識と食を選択する判断力を身につけ、自己管理能力の向上を目指すことを主旨とした食育料理講習会を実施。	西区健康課

### ■成人期対象事業

	事業名	実施時期	実績 (人数・件数等)	内容	担当局・課 (関係課)
1	成人期対象料理教室	通年	12回 284人	「男性料理教室」「脳を鍛える料理教室」として、生活習慣病予防のためにの調理の基本や料理の組合せ方法を取得することを目的とした料理講習会を実施。	保健福祉局健康増進課
2	地域食生活改善講習会	通年	80回 1,777人	福岡市食生活改善推進員協議会に委託して、各校区において「生活習慣病予防」「野菜をおいしく（たっぶり）」「高齢者料理」「男性料理」などのテーマで講習会を実施。	各区健康課
3	食育講演会	3月3日	72人	テーマ：子どもの心も育む食 講師：九州大学大学院農学研究院 助教 佐藤剛史氏	東区健康課
4	食育講演会	2月12日	73人	テーマ：無形文化遺産：和食「一汁三菜と減塩の工夫」～健康日本21の推進を目指して～ 講師：中村学園大学 名誉教授 城田知子 氏	南区健康課
5	健診で食育「よかろーもんランチ」	1月～2月	3回 65人	よかドック結果説明会時に健康食を提供し、実際の食事をツールとして効果的な食育を実施。	城南区健康課
6	生活習慣病に関する健康教育	随時	—	所内や公民館等においてメタボリックシンドローム等生活習慣病予防の教育を実施。その中で食生活に関する講話を実施。	各区地域保健福祉課
7	ウエストリーグ～打倒！メタボ!!～	随時	1シリーズ 68人	メタボリックシンドローム予防の普及啓発を目的として、通信制で運動習慣や食生活改善に向けての継続支援を行う。	西区地域保健福祉課

### ■高齢者期対象事業

	事業名	実施時期	実績 (人数・件数等)	内容	担当局・課 (関係課)
①	老人クラブ連合会会報誌へのレシピ提供	7月・1月	2回	老人クラブ連合会会報誌に、高齢者向けのレシピを掲載。	保健福祉局健康増進課
②	おとなのためのおやつ教室	3月3日	25人	高齢者を対象に、食品関連事業者と共働で、食の安全、手洗いの啓発、おやつのおべつ・塩分の取り方について学ぶ教室を実施。	博多区健康課
③	いきいきシニア応援事業（食に着目したアクティブエイジング事業）	通年	3部門で89作品応募（うち、入賞9作品）	高齢者が健康で生き生きと活動するため、おいしく安全で健康的な食生活を支援する目的で、地域の高齢者にアンケート調査を実施した。また、南区大学連絡会議の学校に依頼し、学生を対象に高齢者向けレシピコンクールを実施。入賞作品を選考し、入賞作品のレシピ集を発行した。	南区健康課 南区衛生課
4	高齢者向け料理教室	7月・9月	2回 38人	高齢者の低栄養によるさまざまな機能の低下予防を目的とした、活き活きと生活するための「食べる楽しみ」、旬のものや好みのおものを食べる楽しみ、会話をしながら食べる楽しみ、また料理を作る楽しみなどを体験する料理教室を実施。	西区健康課
5	介護予防事業の中での教室	通年	—	高齢者が要介護・要支援状態になることを予防するため、介護予防教室や転倒予防教室等で、低栄養予防のための食生活など講話を実施。	各区地域保健福祉課

○番号は新規事業

# 平成25年度 福岡市食育推進事業一覧

## 1 家庭・地域における食育の推進

### ■地域における食育の支援関係事業

	事業名	実施時期	実績 (人数・件数等)	内容	担当局・課 (関係課)
1	「いくちゃん弁当」の共同企画	6月及び毎月19日	—	市役所15階食堂で毎月19日に提供する野菜たっぷりの「いくちゃん弁当」について、メニュー案、啓発チラシ等を作成するとともに、食育の日、食育月間を紹介する庁内放送を実施。	保健福祉局健康増進課
2	出前講座	通年	2回 47人	「食育で元気な福岡明るい未来」をテーマに、福岡市食育推進計画の説明等を実施。	
3	めじゃ〜リーグ福岡におけるコラム発信	10月〜12月	7回	めじゃ〜リーグ福岡参加者向けに、食に関する情報をインターネットを通じて発信。	
4	料理サークル等への講師派遣	通年	10回 204人	公民館等で行われている料理サークル等へ講師を派遣し、食育講話や料理指導を実施。	
⑤	ショッピングセンターでの食育イベント	通年	10回	イオン福岡伊都店において、野菜摂取を増やすためのポイントやメニューを実演を交えて紹介。	
6	商工会議所における啓発	6月・10月	7回	商工会議所で実施される健康診断時に朝食摂取の啓発を実施。	
⑦	毎日プラスワンベジコンテスト	募集期間：11月1日〜1月6日	応募作品数179件	毎日の食卓に野菜をあと一皿増やすことを目的に、5つのテーマを設定し、それぞれのテーマに沿った野菜レシピを募集。	
8	特定給食施設等指導	通年	集団指導 12回917施設 (局主催 5回781施設) (区主催 7回136施設) 個別指導 205施設	給食施設において利用者に対して適切な栄養管理が行われるよう、施設に従事する栄養士等を対象とした研修会や個別指導を実施。	保健福祉局健康増進課 各区健康課
9	福岡市栄養成分表示の店	通年	457店舗 (新規登録60店舗)	市民が個人の健康づくりに配慮した食事の選択ができるよう、飲食店等においてエネルギー量や栄養成分量の表示を行う店を増やすことで、市民の健康づくりを支援する環境整備を図る。	
10	福岡市健康・食育サポート店	通年	107店舗 (新規登録14店舗)	健康づくりや食生活改善に配慮したメニューやサービスに取り組んでいる飲食店等を増やすことで、市民の健康づくりを支援する環境整備を図る。	
11	食生活改善推進員養成教室	通年	8開設 192名修了	食を通じた地域のボランティア活動を行う地域リーダーを養成する講座を各区で開催。	各区健康課
12	食育月間における食育イベントの実施	6月14日	150人	食育月間にあわせ、東区食生活改善推進員協議会と協働で、管内ショッピングモールにて野菜の計量体験やアンケートを実施し、食育の推進および食育月間の普及啓発を図った。	東区健康課
13	博多区食育推進事業（食育リーダー研修）	6月25日 7月30日	29人	地域に根ざした食育を広く推進するため、健康づくりに係る団体や関係職員等を対象に、地域や各職域における食育リーダーの育成を図った。	博多区健康課
14	食育月間パネル展	6月17日〜21日	—	中央区役所まちかど文化広場において、食育に関するパネルを展示。	中央健康課
15	食育月間における食育推進	6月19日	100人	中央区食生活改善推進員協議会と協働で、中央区役所ロビーにて食育パンフレットとポケットティッシュを配布し、食育推進を図った。	
16	健康フェアにおける食育推進	10月3日	150人	中央区食生活改善推進員協議会と協働でパネルを展示。	
⑪	男性のための健康生活体験塾	2月27日	17人	成人男性を対象とした生活習慣病予防の講話及び講習会を実施。	
18	食育月間パネル展	6月13日〜7月2日	—	南区役所まちかど文化広場で食育に関するパネルの展示やレシピ集などの資料を配布。	
19	健康フェアにおける食育推進コーナー	10月11日	90人	健康フェア時にレシピやリーフレットを配布及びパネル等を展示。	南区健康課
20	食育パネル展	6月10日〜14日	—	城南区役所ロビーにて、城南区における食育の取組についてパネル展示及び食育パンフレットを配布。	城南区健康課
21	「どんたく広場西新演舞台」における食育の推進	5月3日	200人	早良区食生活改善推進員協議会と協働で、どんたく広場西新演舞台で、「朝食を食べよう」チラシ、ポケットティッシュ、レシピ集を配布し、食育の推進を図った。	早良区健康課
22	健康づくり応援団の店における情報発信	随時	1,110枚	早良区食生活改善推進員協議会と協働で、ヘルシーメニューレシピのリーフレット等を作成し、商店街の協力店舗（健康づくり応援団の店）を通じて健康情報を発信した。	
23	食育月間における食育の推進	6月19日	200人	早良区食生活改善推進員協議会と協働で、食育月間・食育の日に合わせて、西新エルモールプラリバ前で「朝食を食べよう」チラシ、ポケットティッシュ、レシピ集を配布し、食育の推進を図った。	
24	健康まつりにおける食育コーナー	10月3日	—	健康まつりにおいて、食育コーナーを設け、減塩・健康食の媒体掲示やリーフレット類を配布。	
⑫	早良みなみマルシェにおける啓発	11月10日	—	早良みなみマルシェに参加し、地元野菜を取り入れた料理（だご汁）を提供し、野菜摂取の啓発を行った。	
26	健康フェアにおける食育推進コーナー	10月18日	約300人	健康フェア時に、西区の豊かな食材を取り入れた各種レシピ集を配布、食育推進に関するパネル等を展示。	西区健康課

# 平成25年度 福岡市食育推進事業一覧

## 2 学校・保育所・幼稚園等における食育の推進

### ■保育所関係

	事業名	実施時期	実績 (人数・件数等)	内容	担当局・課 (関係課)
1	各保育所における食育の推進	通年	192保育所で随時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育年間計画を作成し、各年齢毎の保育の計画（食育含む）に基づき保育や給食時に食育を実施。（栽培活動など体験型活動含む）</li> <li>・保育所給食で、給食を作るときにおいて、音を身近に感じる五感や給食を通していろいろな食材や調理法など、食に関する体験と、友達と一緒に食べる楽しさや食事のマナー等を習得する。</li> </ul>	こども未来局保育所指導課
2	給食における食物アレルギー対応	随時	192保育所 対象児童約1,860人	各保育所（園）で除去食や代替え食等のアレルギー対応を実施。	
3	給食試食会・保護者講演会	随時	各保育所年2回程度実施	保護者等に対して保育所給食や食生活についての理解を深めてもらうため、給食試食会や食に関する講演会を行う。	
4	市による保育所給食献立及び食育資料の作成・配布と各保育所での「食育（給食）だより」などを活用した食の情報発信	通年	概ね月1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発育発達や行事食・郷土料理に配慮した給食献立を市が作成し各保育所に配布。</li> <li>・各保育所では、市の情報を踏まえ、給食メニューや行事食、食品の働きなどについて記載した「食育（給食）だより」を保護者へ配布。</li> <li>・毎日の給食を展示するとともにおすすめレシピを配布。</li> </ul>	
5	市による保育所職員への研修	5月14日	21人（実習含む）	調理担当者・乳児担当保育士に対し、「乳幼児の栄養管理と食育」についての講話（離乳食の調理実習）を行い、給食及び食育についての知識及び技術の向上を図る。	
	・乳児食研修会	5月23日	約250人		
	・新献立調理実習講習会	9月12日 9月13日	2日間実施 延べ39人		
6	市による児童福祉施設への巡回指導	5月～2月	126か所	保育所やその他の児童福祉施設への指導監査時に栄養管理・衛生・食育等についての指導助言を行う。	
7	市ホームページによる保育所給食の情報発信	通年	毎月1回	保育所給食のおすすめ献立や誕生会献立の献立名や写真、食育情報をホームページに掲載する。家庭でも活用できるよう、おすすめ献立にはレシピを掲載。	
8	保育所における実態調査・幼児の健康と食生活に関する調査	2月	対象 市内192保育所	食育推進を行うに当たって、実態を把握するため、幼児の健康と食生活に関する調査を行う。全保育所へ結果について情報提供を行う。	
	・アレルギー実態調査			アレルギー対応の状況を理解し、的確な対処や今後の対策に役立てるため、アレルギー実態調査を行い、結果を全保育所へ情報提供。	
9	子育て支援事業	随時	38回 参加者438人	市の給食担当者が、未就学児をもつ保護者（子育てサークル等）に対し、公民館等に出向いて、乳幼児食の調理実習を実施する。	
10	こどものえがお展	11月6日～10日	ソラリアプラザ1階 (6種類、350部配布)	福岡市保育連盟主催のこどものえがお展の会場において、市が食事バランスガイド・レシピ・食育パンフレット等を展示及び配布。	

○番号は新規事業

# 平成25年度 福岡市食育推進事業一覧

## 2 学校・保育所・幼稚園等における食育の推進

### ■学校関係

	事業名	実施時期	実績 (人数・件数等)	内容	担当局・課 (関係課)
1	市内産農産物学校給食活用推進事業	4月～3月	学校給食における市内産農産物利用割合指標 野菜 11.7% 米 21.8%	「市内産農産物学校給食活用協議会」において、市内産農産物の学校給食への活用を推進する。	農林水産局農業振興課
2	学童菜園事業	6月～3月 (三苦小のみ11月～翌年5月)	7校 (三苦小・有住小・内野小・小田部小・入部小・姪浜小・北崎小)	学校菜園における野菜の栽培指導及び収穫祭などを通じた生産者と児童との交流により、食育を推進する。	
3	学習と関連付けた給食献立作成	毎月	毎月1テーマ	各月の小学校給食に教科学習等に関連する食材や献立を取り入れて、給食を生きた教材として活用。	教育委員会健康教育課
4	人形劇等による食育指導 (各区食育推進事業)	随時	博多区・南区・早良区・西区等の関係小学校	人形劇：博多区・西区 DVDによる食育：南区 マナー教室：早良区・中央区・城南区	
5	毎月19日の食育の日	毎月19日	小中特別支援学校	小中特別支援学校において食に関する指導を実施。	
6	朝食喫食調査及び指導	6月	小学校全校 中学校20校	小中学生を対象にした朝食喫食の状況調査と結果の分析を行い、朝食指導に活用。	
7	「弁当の日」	随時	小学校27校 中学校23校	手作り弁当の日を年に数回実施。	
8	学校給食コンテスト(各区食育推進事業)	10月19日	応募作品数3,612件	中学校所属の栄養教諭等が中学生、特別支援学校中・高等部の生徒を対象に給食に出して欲しい献立を募集し、給食への興味・関心を高める。	
9	献立配膳図・「食」一口メモ	月1回	小中特別支援学校	各クラス毎に掲示、食に関する情報提供。	
10	放送原稿 「きょうの献立なあに」 「ランチタイムズ」	毎日	小中特別支援学校	放送委員等が、毎日の献立に関する説明を行い、食に関する関心を高める。	
11	学校給食における除去食対応	随時	小学校全校	アレルギー除去食(卵・マヨネーズ・ごま・ごま油・ピーナツ)を実施。	
12	小中特別支援学校における食物アレルギー実態調査	5月	小中特別支援学校児童生徒	食物アレルギーの実態を調査して、状況の把握を行う。	
13	学校給食週間	1月24日～30日	小中特別支援学校	学校給食の意義や役割等についての理解を深めるため、学校給食に対する校内行事等の取組を実施。	
14	給食試食会	随時	小中特別支援学校 (小)保護者4,439人 地域 854人 中・特 616人	保護者や地域を対象に、試食を通して学校給食についての理解を深めてもらい、学校と連携した家庭や地域における食育推進について講話を実施。	
15	食育便り(給食だより)	月1回	全家庭向け (栄養教諭等配置校)	給食を通じた食育情報の提供。	
16	農林水産まつり	11月9日	給食試食800人 栄養診断、献立展示 食育パネルシアター	「食育推進コーナー」を設け、学校給食に対するパネルや献立の展示、給食試食、栄養バランス診断などを行い、市民へ食の大切さを啓発。	
17	料理講習会(各区食育推進事業)	随時	東区3回 早良区1回 西区1回	東区、早良区の栄養教諭等が5校の保護者を対象に地場産物を取り入れた料理や朝食などについて実技講習会を実施。	
18	小学校 栄養教諭・学校栄養職員による配置校・担当校への食に関する指導	随時	配置校：全学年 担当校：1・3・5年	配置校：食に関する指導の全体計画に基づき、教科等における指導を計画的に実施。 担当校：1・5年生全学級を対象に指導。	
19	中学校 栄養教諭・学校栄養職員による配置校・担当校への食に関する指導	随時	全中学校	給食センター兼務の中学校籍栄養教諭等が担当エリアの中学校を定期的に訪問し、指導。	
20	栄養教諭・学校栄養職員研修	6月～1月	4回 延べ284人	児童生徒の食育を担う職員の更なる資質向上のため、栄養教諭、学校栄養職員を対象に研修を実施。	
21	調理業務員等研修	7月22日 7月29日	2回 約1,020人	給食に関わる職員(小学校調理業務員等)への食育推進計画の周知及び食育推進に関する研修を実施。	
22	教職員1年次研修会	7月	幼小中特別支援学校、 新規採用職員 320人	各学校の食育推進体制について教職員を対象に研修会を実施。	

○番号は新規事業

# 平成25年度 福岡市食育推進事業一覧

## 3 生産者と消費者との交流や農林漁業の活性化

	事業名	実施時期	実績 (人数・件数等)	内容	担当局・課 (関係課)
1	酪農体験スクール	8月	1回 13人	市内の小中学生及びその保護者を対象に、酪農家での酪農体験や乳製品加工工場の見学等を実施。	農林水産局農業振興課
2	酪農体験ツアー	9月	1回 16人	成人を対象に酪農家での酪農体験や乳製品を使った料理教室等を実施。	
3	地域の魅力発信事業	11月	【志賀島地区】 勝馬かしわ飯祭り 25人	人口減少、高齢化が進む農漁村地域の魅力を都心部に発信し、地域の振興や活性化を支援する事業。その中のイベントの一つとして、勝馬地区の農家で古くから食べられていたかしわ飯をもっと多くの方に味わってもらうため新米の季節に合わせて開催。	
4	産地見学と料理教室	7月～12月	4回 61人	市内産野菜を食材とした市民対象の料理教室と併せ、産地や直売所の見学を行い、市内産農産物に対する消費者の理解促進を図る。料理教室で使用したレシピは、リーフレットの形で市民に広報し、市内産野菜の消費拡大を図る。	
5	親子 食と農の体験教室	5月～10月	4回 78人	親子を対象とした市内産地での収穫体験により、福岡市の農業への興味を持ってもらう。また、みそづくり体験や生産者との交流を通して、「食」の大切さを見直し、「食育」を推進するとともに「食」と「農」のつながりを考える場を提供する。	
6	女性農業者育成支援事業	8月～3月	味噌づくり 小学校29校 (うち幼稚園2園) 2,234人	女性農業者を地域農業を支える人材として育成することを目的とした事業の一環として、また、食と農の知識の普及や地域農業文化の継承のため、小学校等に出向いて味噌づくりの指導等を行う。	
7	朝市・夕市等の直販事業への支援	随時	・年間を通じ直販支援 ・西浦さかなまつり等のイベント支援	地元で生産された農水産物を直接消費者に販売する。姪浜・志賀島の朝市、伊崎・弘の夕市、唐泊のカキ焼き小屋などがある。	農林水産局水産振興課
8	玄海うまかもん食育事業	7月～11月	22回 838人	市内中学校、高等学校の家庭科調理実習における、魚を使った料理教室の開催。(7～11月) 小中学生とその保護者を対象とした料理教室「親子でチャレンジ!お魚クッキング」	農林水産局市場課
9	中央卸売市場料理教室	2月～3月	3回 81人	調理学校の先生を講師に迎え、魚、肉、野菜等の生鮮3品のうち1つをメインテーマに調理実習を行い、生鮮3品の普及促進、食育及び市場の紹介を図る。	農林水産局市場課

## 4 食文化の継承と国際交流

	事業名	実施時期	実績 (人数・件数等)	内容	担当局・課 (関係課)
①	国際交流料理講習	通年	3回 55人	日本語教室に参加している留学生等を対象に、和食文化や伝統料理を伝える講習会を実施。	保健福祉局健康増進課
2	福岡市健康・食育サポート店(再掲)	通年	35店舗	福岡市(県)内産の農林水産物を継続的に5品以上使用していたり、伝統料理や郷土料理を提供するなど食文化の伝承に努めている飲食店等を登録。	
3	地域食生活改善講習会(再掲)	通年	14回 280人	福岡市食生活改善推進員に委託して実施する料理講習会に、テーマとして「産地地消」「郷土料理・行事食」を設定して実施。	各区健康課
4	郷土料理普及啓発	5月3日 5月4日	延べ400人	博多区食生活改善推進員協議会と共働で、博多どんたくにおいて「がめ煮」を販売し、日本型食生活や和食文化についての普及啓発を行った。	博多区健康課

○番号は新規事業

# 平成25年度 福岡市食育推進事業一覧

## 5 安全安心な食生活

### ■食品の安全性の確保

	事業名	実施時期	実績 (人数・件数等)	内容	担当局・課 (関係課)
1	収去検査	通年	理化学検査2,246件, 細菌検査1,395件を実施し、18件(理化学12件,細菌6件)の違反を発見(食品衛生検査所,食肉衛生検査所を含む)	市内の製造所や販売店で食品を抜き取り、細菌、食品添加物、残留農薬等の検査を行い、食品の安全性を確認する。 (抜取りは、各区衛生課で、検査は保健環境研究所で実施)	保健福祉局 食品安全推進課 (各区衛生課・食肉・食検・保環研)
2	食品取扱施設に対する立入検査	通年	・食品衛生法の許可を要する施設32,539件に対し、延べ36,184回立入調査を実施 ・それ以外の食品取扱い施設15,297件に対し、延べ29,046回立入調査を実施(条例許可施設,給食施設を含む)	食品取扱い施設に立ち入り、施設の衛生状態や販売される食品の表示の確認や事業者に対する指導やアドバイスをを行う。(各区衛生課)	保健福祉局 食品安全推進課 (各区衛生課)
3	集団給食施設(学校給食)などに対する立入検査	通年	対象施設796件に対し、延べ663回立入調査を実施	学校、保育所、社会福祉施設などの集団給食施設に立ち入り、衛生状態の確認や食中毒の予防のアドバイスをを行う。(各区衛生課)	
4	特定給食施設研修会(再掲)	①5月17日 ②9月26日	①198施設 218人 ②155施設 161人	福岡市内の特定給食施設従事者を対象に、給食施設における衛生管理をテーマに研修会を実施。	保健福祉局健康増進課
5	食品衛生研修会	4月	4月10日 90人 4月24日 約250人	保育所やその他の児童福祉施設における衛生管理について講演会を開催し、安全な給食の提供を行う。	子ども未来局 保育所指導課

### ■食の安全安心に関する情報発信と情報を読み解く力の育成

	事業名	実施時期	実績 (人数・件数等)	内容	担当局・課 (関係課)
1	くらしの実験講座	随時	7回 126人	グループからの要望により、公民館等に出向き、糖度測定等の実習を交えた講座を開催。 テーマ:ジュースの中の砂糖の量はどのくらい! ビタミンCをかしこく摂ってますか? 講師:消費生活センター職員	市民局消費生活センター
②	消費生活応援セミナー	3月	1回 61人	科学用語や調査データを悪用して不安をおおったり期待をさせたりするなど、身のまわりにあふれる「インチキ科学」に惑わされない力を磨くための講座を開催。	
3	暮らし上手のヒントの発行・配布	2月	A5版 20,000部発行	生活衛生に関する検査結果や行政の取組を解説した情報誌の発行・配布。 リビング福岡へ掲載、WEBでの掲載、冊子の配布。	保健福祉局 食品安全推進課 (各区衛生課・食肉・食検・保環研)
4	ホームページによる食品の安全性に関する情報提供	通年	トピックスや記者投げ込み資料を適宜掲載 違反食品等の情報を四半期毎に掲載	市ホームページによる食品の安全性に関する情報の提供。	保健福祉局 食品安全推進課 (各区衛生課)
5	食品衛生月間行事	8月	親子109組259人	食品衛生月間行事において、料理教室や工場・市場見学等を通し、食中毒予防の啓発を実施。	保健福祉局食品安全推進課 (各区衛生課・食肉・食検)
6	バザー開設者に対する衛生講習	通年	73回 2,813人	地域でのバザーや模擬店等で提供される食品の衛生確保のための講習会の開催や保健所での乳幼児健診などを利用した食中毒予防の講習会の開催。	保健福祉局 食品安全推進課 (各区衛生課)
7	市民を対象とした講習会	通年	153回 5,395人	市民を対象とした「くらしのステップアップセミナー」や出前講座の開催。	
8	市場(食品衛生検査所)見学	通年	24回 591名	消費者等への情報提供により、消費者の食に対する「安全・安心」の確保を図る。	保健福祉局 食品安全推進課 (食検)
9	食品工場等見学・交流会	7月~8月	2回 40人	施設見学(食品工場など)の後、参加者、工場、保健所職員で質問・感想を話し合う。	保健福祉局 食品安全推進課 (東区衛生課)
⑩	食のちよい勉強講座	10月	2回シリーズ 18名	公募した市民18名を対象に、施設見学および食品衛生をクイズや五感を通して体験し、学ぶ、食の衛生講座を実施。	保健福祉局 食品安全推進課 (東区・中央区衛生課)

○番号は新規事業

# 平成25年度 福岡市食育推進事業一覧

## 5 安全安心な食生活

### ■食の安全安心に関する情報発信と情報を読み解く力の育成

	事業名	実施時期	実績 (人数・件数等)	内容	担当局・課 (関係課)
11	会社員のための健康情報 定期便	春、夏、 秋、冬の 計4回(中 央区は 春、秋、 冬の計3 回)	博多区 約900社/回 中央区 約500社/回	健康に関するチラシを作成し、シーズンごとに企業への 郵送及び電子メールにより情報提供を行った。	保健福祉局 食品安全推進課 (博多区衛生課・健康課) (中央区衛生課・健康課)
12	食の安全安心探検隊	7月～1月	4回シリーズ 21人	食の安全安心確保を目的として、消費者が日頃利用して いるスーパーで試買検査と衛生検査を実施し、その結果 をもとに消費者・スーパー・行政の3者で意見交換会を 実施。	保健福祉局 食品安全推進課 (博多区衛生課)
13	食肉の生食の危険性を訴 えるパンフレットの配布	通年	消費者対象講習会 (配布数：約5,700枚) 食品衛生月間 (配布数：約5,300枚) 専門学校生徒等 (配布数：約2,900枚)	食肉の生食の危険性を訴えるパンフレット「STOP!肉の 生食」を配布した。	保健福祉局 食品安全推進課 (中央区衛生課)
14	南区ため蔵食ゼミ	9月～12月 3月	講座：5回シリーズ 20人 フォロー会：23人	公募した区民20名を対象に、5つの講座をシリーズで開 催 ①②食の基礎講座、参加者ワークショップ ③食品工場見学とスーパーでの試買 ④食品検査と検査機関の見学 ⑤まとめと意見交換会 5つの講座と別にH23(第1期)、H24(第2期)、H25(第3期) の講座参加者と博多区衛生課が実施した食の安全安心探 検隊の参加者を対象としたフォロー会(同窓会)を行 い、専門家を招いて講習会と意見交換を実施。	保健福祉局 食品安全推進課 (南区衛生課)
15	食とくらしのリスクコ ミュニケーション 「わくわく体験!食の安 全と食品検査」	8月	2回 延べ48人、大学生8人	大学の実験室にて食品等の衛生検査(細菌検査や簡易な 化学検査など)を実際に体験するほか、食中毒予防等の 講義の受講や意見交換を行うことで、市民の食に対する 不安を解消し安心を深める。(中村学園大学との共働)	保健福祉局 食品安全推進課 (城南区衛生課)
16	食の安全安心スクール	6月～11月	3回シリーズ 福岡市立福岡女子高校 食物調理科の生徒40人	事業者や行政の食の安全に関する取り組みを消費者に 知ってもらうことで、お互いの信頼関係を創る足がかり とし、食の安心へとつなげる。	保健福祉局 食品安全推進課 (西区衛生課)

○番号は新規事業